

北海道179市町村のできる！を実現



木村としあき



豊平区、白石区で 活性化フォーラム

札幌市内各区で開催されている活性化フォーラムが、20日、豊平区と白石区で開催されました。木村としあきさん、上田札幌市長、そして各区の道議・市議、初挑戦する皆さんが政策と決意を訴えた他、来賓の荒井衆議、徳永参議からもエールが贈られました。



基調講演を行った北大大学院の宮本太郎教授は「人は危険から逃れることはできない」と大震災と社会保障や福祉を重ね合わせ、「ごく一

学ぶ、働く、暮らす、そして老いを考えるをテーマに、20日、札幌

市内で福祉フォーラムが開催されました。会場には障害者や福祉関係者など約六百人が詰めかけ、社会的に困難を抱える人たちとその家族を包み込む街づくりをすすめるよう確認しあいました。

福祉フォーラム開催 障害者、健常者の垣根を越えた街づくりを



▲宮本太郎教授

部の人たちのためにという政策は成り立たなくなっている」と指摘し、「健常者と障害者の境界線を引くことは意味がない」として、「ダメージを最小限に抑える安心・安全の社会を創らなければならぬ」と強調。そのために「教育と雇用をつなげる、女性などの力による活力を高める、雇用をつくる場の確保

が大事だ」などと述べると共に、「助け合う資質を行政がくみ上げ、社会保障や福祉につなげることを札幌、北海道が率先して取り組んでほしい」と上田市長、木村としあきさんに期待を寄せました。

「木村としあき」
当事者と一緒に
なつて街づくり

木村としあきさんは、「震災の状況を目のあたりにして、生活と命を守ることが重要だと実感した。地域とのつながりを深くすることが大切。福祉政策も当事者や関係者の皆さんと対話の場をつかって、上から目線ではなく向き合って実施していきたい」と、これからの福祉政策の考えを述べると共に、「障害のある方も、ない方



も、一緒になつて街づくりをすすめていきたい」と強調しました。

「上田札幌市長」

3期目で福祉の花咲く札幌に！

上田札幌市長も子育て支援ネットワークの「子育てサロン」、保育所定員の大幅増、特別養護老人ホーム等の整備、障害のある方の就労を支援する「元気ショップ」の開設など、8年間の取り組みを紹介し、「この2期8年間で種をまいた。3期目で花が咲く札幌にしたい」と抱負を語りました。

フォーラムでは高齢社会をよくする女性の会や障害当事者、不登校の子どもたちを支える団体などから現状の報告と提言をいただき、木村としあきさんも上田札幌市長も、当事者や関係者の皆さんと一緒になつた街づくりの推進を約束しました。

最後には、すべての人が等しく価値ある存在として「育ち」「学び」「働き」「暮らし」「年を重ねる」ことのできる地域社会の実現が大切だとする宣言を全体で確認しました。